

高等学校 令和4年度

教科

数学科

科目 数学A

教科：数学科

科目：数学A

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～3組

使用教科書：（最新数学A（数研出版））

教科 数学科

の目標：

【知識及び技能】問題を正確に理解し、定義や定理等をもとに式を立てることで適切に計算できる。

【思考力、判断力、表現力等】公式を暗記して計算するだけでなく、その式の成り立ちについて理解している。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的であり、家庭学習用の課題についても意欲的に取り組んでいる。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について、基礎的な知識の習得を目指し、それを活用する力を身に付ける。	場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について、事象を数学的に考察する能力や、式の成り立ちについて理解し、またそれを説明できる。	場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について、興味・関心を持つとともに、課題に対しても積極的に取り組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	関	考	技	知	配当 時数
1 学 期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1年次に数学Iで学習した集合についての確認、その要素の個数に関して成立する関係について理解させる。また、事象の数え方について、「樹形図」を用いる方法や、順列 nPr や組合わせ nCr の有用性を理解させるとともに、それを適切に活用できるようにする。	【指導事項】 ・場合の数 【教材】 教科書：数研出版「最新数学A」 副教材：数研出版「3ROUND数学A」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	○	11
	定期考査			○	○		○	1
	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 確率の意味を理解させる。「場合の数」で習得した内容を用い、確率に関する応用的な問題に取り組めるようにする。具体的には「和事象の確率」「余事象の確率」「独立な試行の確率」「反復試行の確率」「条件付き確率」に関する問題について扱えるようにする。	【指導事項】 ・確率 【教材】 教科書：数研出版「最新数学A」 副教材：数研出版「3ROUND数学A」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	○	12
定期考査			○	○		○	1	
2 学 期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 中学時代に学習した図形についての復習と、その応用例の定理について考えさせる。	【指導事項】 ・平面図形 【教材】 教科書：数研出版「最新数学A」 副教材：数研出版「3ROUND数学A」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	○	13
	定期考査			○	○		○	1

